



滝田医院ニュース

022-0001 岩手県大船渡市末崎町字細浦77番地 滝田医院
電話0192(29)3108 内科・循環器科・消化器科・呼吸器科・リハビリテーション科

第3号

発行日 2004(平成16)年7月15日

目次:

夏期の健康維持	1面
ちびっこ探検隊	1面
色紙いただきました	2面
6月25日の報告	2面
医師随想	2面

夏を元気に乗り切りましょう!

気仙地方にも夏が訪れました。首都圏や西日本の人たちは「東北の夏は過ごしやすくいいね!」などと言います。たしかに30度を超す蒸し暑さが連日続くようなことはありません。しかし逆に海から冷たい風が入り込んでしまって、

「夏なのに寒い」

ということもおこりうるのが気仙の夏だと思います。つまり寒暖の差が大きいのです。これは健康面では要注意です。特にお年寄りの方は気温の変化で体調を崩す場合が多いようです。かぜには十分ご注意ください。こまめに着替えをして体感

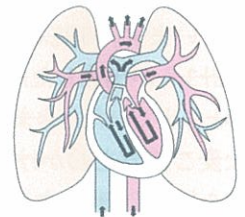
温度の差を少なくする

のが肝心です。

また真夏は意外にも
(!)心筋梗塞が起き



やすい季節といわれています。気温が高く脱水状態となり、血管が詰まりやすくなってしまいます。医師から特に水分制限をされている患者さん以外は、暑い日はこまめに水分補給することを心がけましょう。汗をかかなくとも、気温が上がれば、体から水分は蒸発していきます。腎臓の働きが良くない患者さんも脱水には注意してください。また大人も子どもも生活が不規則になりがちです。疲れは翌日に持ち越さないように、十分休養をとりましょう。



おしらせ

休日当番医

7月25日

(日曜日)

午前9時～午後5時

急患のみですので

電気(マッサージ、ロー

ラー)は、行いません。

末崎小学校2年生 町たんけん隊 来院

さる7月7日水曜日 末崎小学校2年生の5人のグループが当院を訪問しました。これは同小学校が、生活科の学習の一環として毎年おこなっている「町たんけん」で、細浦地区のお店を見学し仕事についてインタビューをするという催しです。当院には同日午前11時過ぎに訪れ、元気な笑顔を患者さんに振りまきました。

「注射はどうやってするのですか?」「呼んでも患者さんがいないときはどうするのですか?」などの質問が飛び出し、医師もタジタジでした。

待合室のほか、診察室、生理検査室、内視鏡室などを見学してもらいました。内視鏡を見せると思わず「えっ!これを飲むの?痛そう。」との声

が上がりました。(本当はそんなに痛くないよ!)

5人の中には何回か当院を受診したお子さんもいましたが、普段はあまり見ることのない医療器具に興味深げでした。これを機会に、医師や看護師など医療の仕事に興味を持ってもらえると、嬉しく思います。下の写真はインタビュー中に

当院待合室で撮影しました。引率の鈴木先生、千葉先生、お疲れ様でした。



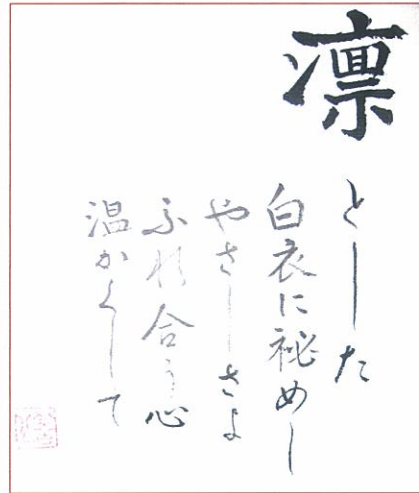
近藤善治郎さんより色紙を頂戴しました。

「凛とした 白衣に秘めしやさしさ
よ ふれ合う心 温かくして」

内田地区の近藤善治郎さんより、右のような色紙を頂戴しました。近藤さんは当院開業当初から通院してくださっています。色紙には、当院の職員への、お褒めの言葉をしたためていただいております。

すこしでも色紙のお言葉に沿うように、職員一同努力いたします。

近藤さんも末永くお元気で、お過ごしくださるようお祈りします。



第40回保険問題講習会 開催

去る6月25日陸前高田市のホテルキャピタルにて第40回保険問題講習会が開かれました。

この会は、岩手社会保険事務局と気仙医師会の共催で、毎年一回6月末に行われています。当院からも医師と事務職員の計3名が出席したため、当日午後には休診とさせていただきます。患者さんには大変ご迷惑をおかけしましたが、健康保険を円滑に運営するために必要な講習会ですので、ご了承ください。

気仙医師会所属の開業医はほぼ全員出席したので、他所の医療機関もお休みになったところが多かったと思います。

遠路はるばる盛岡からいらした鈴木医療管理官、布川指導医療官のお二人からご講演をいただいたあと、質疑応答に入りました。当院の医師も4つの質問をして、それぞれに明快なご回答をいただきました。今後の保険診療に役立てたいと思っています。



赤崎町尾崎からの眺め

ずいそう (最近思うこと)

参院選が終わった。最近の開票速報番組は、昔と様変わりしている。番組の冒頭で獲得議席数の予想をだしてしまう。いわゆる「出口調査」の結果をもとにしてはじき出す数字のようだ。これが不思議と、最終的な結果と一致するのだからびっくりする。綿密な調査と科学的な分析をしますから当然ですよ、とテレビ局の人は言うのだろう。

医学の世界でも遺伝子レベルまで病気の解析が進みつつある。近い将来、病気になる前に開票速報よろしく病気になることが予測できる時代が来る。「あなたはこういう遺伝子を持っているのでX年後にこれこれの病気になります。抛って斯くなる治療をして病気を防ぎましょう。」ありがたいこと、開

票速報以上である。

このことが人間にとって本当に良いことなのかどうか、考えている人はどのくらいいるのだろう。

*** この院内報も何とか3号発行までたどりつきました。院内報のみならず当院全般に対しご意見、ご感想等ありましたら医師または職員へお寄せください。**